



▲全国大会に参加する男女団体メンバーとサポートメンバー

3月17・18日に全国大会行われる
練習の成果を出し切れるような試合を



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

12月16日・17日に大阪府のアルプス江坂囲碁センターで行われた第6回近畿高校囲碁選手権大会で、団体戦で男女ともに、女子9路盤戦で伊藤鈴菜さん(2-6)が好成績を収め、第12回全国高等学校囲碁選抜大会に出場することが決定した。全国選抜大会は3月17・18日に大阪商業大学で行われる。

3月17・18日に行われる全国選抜大会の女子団体戦には深尾陽さん(2-3)、伊藤さん、石田梨紗さん(1-6)、久保田しずくさん(1-8)が、男子団体戦には中西康輔君(2-3)、山形修平君(2-4)、清水敦士君(2-5)、塚本笙太君(1-3)が、女子9路盤戦には伊藤さんが出場する。団体戦で男女

ともに全国選抜大会に出場するのは本校初である。また蔵内美佑さん(2-8)と、富の記録などを行うサポートメンバーとして全国大会に参加する。

女子団体戦で主将を務め、

女子9路盤戦にも出場する伊藤さんは「全国選抜大会出場が決まってからは基本的に忠実になって練習してきた。全国大会のために全力は尽くせたい」と出場決定からの3か月間を振り返った。また、全国選抜大会に向けて「団体戦ではチームに少しでも貢献できるように頑張りたい。個人戦はまだ強豪との力の差がわからないので、まずはひとつひとつ着実に勝ち、順位を上げたい。『できれば優勝できない』と思うだけでは優勝できないので、全国で優勝するんだと思って挑みたい」と意気込んだ。男子団体戦で主将を務める塚本君は「練習では対局を終えた後に、もう一度対局を振り返って反省するようにし、対局の後半に時間が残るよう時間の使い方を意識した。まだ完璧ではないが自分の力を出せるようになった」と3か月間の練習の成果を話した。最後に塚本君は全国選

抜大会に向けて「男子団体が全国大会に出場するのは久しぶりなので結果も残したいが、試合を通して課題も見つけた。納得のいく囲碁を打ちたい」と意欲を見せた。

全国への意気込み

●中西君

相手が自分たちより強くても自分のペースで戦いたい。

●山形君

勝てる相手には勝ち、格上にもひるまず、隙があったら勝ちに行きたい。

●清水君

今まで練習してきたことをフルに生かしていけるところまでいきたい。

●深尾さん

攻めの姿勢で積極的に自分の囲碁を打ちたい。

●石田さん

緊張するが、落ち着いていつも通りの姿勢で挑みたい。

●久保田さん

萎縮せず、自分の持ち味を出し切れるよう頑張りたい。

●蔵屋さん

焦らず確実に勝てるよう、一つひとつの試合を大切にしたい。

●富内さん

今後のために先輩方の姿を見て学びたい。